

## 「2025年大阪・関西万博」堺プロジェクト推進会議（第4回） 議事要旨

○日時 令和7年8月21日（木）16:00～16:35

○場所 堺市役所 本館地下1階 職員会館大会議室

○主な出席者

堺市：

永藤市長、佐小副市長、市長公室長、政策企画部長、政策企画部部理事、広報戦略部長、文化観光局長、観光部長、文化国際部長、歴史遺産活用部長、産業振興局長、産業戦略部長、建築都市局長、都市整備部長、建設局長、サイクルシティ推進部長、教育次長、教育委員会事務局総務部長、教育委員会事務局学校教育部長

経済団体等：

葛村堺商工会議所会頭、菊地堺観光コンベンション協会会長、堺商工会議所専務理事、堺観光コンベンション協会専務理事兼事務局長、さかい新事業創造センター代表取締役専務、堺市産業振興センター副理事長

○議事概要

会議の開催に先立ち、永藤市長、葛村堺商工会議所会頭から挨拶があり、その後、取組の進捗や万博閉幕後も効果を持続させる今後の取組について説明があり、会議出席者間で意見交換した。

意見交換では、堺旧港周辺エリアの活性化に向けた取組やより効果的な発信方法等について議論された。

【永藤市長挨拶要旨】

大阪・関西万博という貴重な機会を最大限にいかすため、会期中に改めて協議の場を設けた。万博も残り53日である。これまでの取組を振り返り、残された期間で挑戦した取組が堺の重要な財産・レガシーになると考えている。

イベントが多く開催される季節となり、この会議での意見を基に作成した市内イベントを一覧で確認できるWEBサイトの活用と関係部門が連携した丁寧な情報発信を期待している。

そして本日、気球運行に関する報道提供を行った。万博閉幕まで、堺市として万博に連動した挑戦すべき取組・事業はまだ多くある。今後の堺の発展に向け、力をあわせたい。

【葛村堺商工会議所会頭要旨】

閉幕後における万博の効果を持続させるための取組を議論する機会として、万博期間中に再度この会議が開催されたことは意義がある。

現在行っている堺旧港の取組や気球運行事業をいかし、堺を盛り上げる必要がある。

閉幕後も効果を持続させるための仕組みを作るため、活発な意見交換が必要不可欠であり、こうした会議の場が重要。堺の認知度向上に堺商工会議所として全力で協力したい。

【取組の進捗、万博閉幕後も効果を持続させる今後の取組について】

- ・建築都市局長から堺旧港周辺の活性化について説明
- ・文化観光局長から市内誘客の更なる促進について説明
- ・市長公室長から万博会場での催事による魅力発信について説明

【意見交換での主な発言】

- ・秋催事はこれまでの取組の集大成として臨むべきであり、万博後も堺の魅力発信・発展につなげることが重要。
- ・海上交通を利用した堺への来訪者に対する堺の魅力を印象づけるため、船の最終便が到着する時間に合わせて堺旧港エリアにおいて旧堺燈台や龍女神像（乙姫像）のライトアップの延長が必要。
- ・堺への来訪や周遊につなげるため、情報発信の方法・頻度・表現を含めた内容の検討が極めて重要。イベント発信については閲覧者の行動につながるような見直しが必要。
- ・万博会場ではゴミがほとんど落ちていないなど、堺の行事にも取り込みたいような高い公共性が見られた。
- ・ゴミ対策や熱中症対策など、万博でいかされた技術や経験は閉幕後も堺に活用できる取組として積極的に取り入れたい。